

乞揭示

# 名工大ホモトピー論集会 0 2 - 3

文部科学省科学研究費基盤研究 (B)(2) 課題番号 13440020 (代表 南範彦), 文部科学省科学研究費基盤研究 (C)(2) 課題番号 12640067 (代表 吉村善一) による研究集会を開催致しますのでご案内申し上げます。

日時 : 2002 年 11 月 1 日 (金) ~ 11 月 4 日 (月・振替休日)

会場 : 名古屋市昭和区御器所町

名古屋工業大学・2 3 号館 (古墳の西、通称「共通講義室棟」)・第 1 講義室 (1 階)

・名古屋工業大学ホームページ: <http://www.nitech.ac.jp/>

には、以下の情報へのリンクが張られています。

- 1 所在地 (名工大近郊の地図による案内があります。),
- 2 交通案内 (主な公共交通機関の路線図と名工大までの経路の案内があります。),
- 3 建物配置図 (名工大敷地内の建物の案内があります。2 3 号館 (共通講義室棟) は古墳の左 (西) です。)

・本集会の目的:

1. ホモトピー論とその周辺分野における最近の進展の中から重要と思われるトピックスについて、ホモトピー論修士大学院生レベルを念頭に入れた survey talks を開催したり、ホモトピー論周辺分野で超一線級の御活躍をされている先生方に、ホモトピー論に対して建設的な批判 (これは、ホモトピー論の研究者にとっては問題を頂いたことと思えます) を賜る。
2. 大学独法化とそれに伴う大学改革等により、ウィークデイに開催される研究集会や集中講義への参加が以前にも増して困難になって来た。この状況に対処するため、ウィークエンドに集中した「超集中講義」の形式で survey talks を行う。

第 2 回 part 3 survey talks は、名古屋大学の荒川さんに「超集中講義」の形式にてお願いいたします:

講演者: 荒川知幸 (名古屋大学大学院・多元数理研究科)

タイトル: 共形場理論とその応用( 基本的なことから初めて、Lusztig Program, ヘッケ環の表現論との関係等へ)

荒川さんは、名古屋大学の土屋昭博先生から博士号を授与されたただ一人の方です。

なお、次回名工大ホモトピー論集会 0 2 - 4 は、1 1 月末か 1 2 月頃に、千葉大学理学部数学・情報数理学科の杉山健一さんに、Elliptic fibration に対する Birch-Swinnerton Dyer 予想とその周辺について、「超集中講義」の形式で survey talks をお願いする予定です。 詳細は追ってご連絡します。

# プログラム

## 1 1月1日(金) 午後

15:00 ~ 16:00 講演 1

16:30 ~ 17:30 講演 2

18:00 ~ 19:00 講演 3

## 1 1月2日(土) 午前

10:00 ~ 11:00 講演 4

11:30 ~ 12:30 講演 5

## 1 1月2日(土) 午後

14:00 ~ 15:00 講演 6

15:30 ~ 16:30 講演 7

17:00 ~ 18:00 講演 8

18:20 ~ 19:20 講演 9

## 1 1月3日(日) 午前

10:00 ~ 11:00 講演 10

11:30 ~ 12:30 講演 11

## 1 1月3日(日) 午後

14:00 ~ 15:00 講演 12

15:30 ~ 16:30 講演 13

17:00 ~ 18:00 講演 14

18:20 ~ 19:20 講演 15

## 1 1月4日(月) 午前

10:00 ~ 11:00 講演 16

11:30 ~ 12:30 講演 17

## 1 1月4日(月) 午後

14:00 ~ 15:00 講演 18

15:30 ~ 16:30 講演 19

16:50 ~ 17:50 講演 20

### 世話人

吉村善一 (名古屋工業大学・工学部) [yosimura@math.kyy.nitech.ac.jp](mailto:yosimura@math.kyy.nitech.ac.jp)

南 範彦 (名古屋工業大学・工学部) [norihiko@math.kyy.nitech.ac.jp](mailto:norihiko@math.kyy.nitech.ac.jp)